



# 足あと

進路だより No.4

令和5年5月9日発行

発行責任者 板橋 敬史 文責 橋本 綾一



## 将来を考える！

修学旅行編  
Part2



今回は、修学旅行を通し、生徒達がどんなことを考えたのかを掲載します。この三日間でたくさんの方のことを考えたようです。どうぞ、ご覧ください。

普段の生活とは異なる独特の雰囲気と魅力に包まれた三日間。外国人の多さにも驚いた。至る所で英語が飛び交っていた。グローバル社会に生きる私たちにとって、自分のスキルの一つとして、外国の方にも通用する英語を身につけることは必要不可欠だと感じた。国境を越え、未来を切り拓く力を養うためにも…。

須藤恋彩

私はこの修学旅行を通して、「人の温かさ」を改めて体感しました。行く先々で、「楽しんでね」と声を掛けていただき、緊張がほぐれる場面もありました。私も将来、温かく人間味のある大人になりたいと心から思いました。

溝井柊佑

私は今回の修学旅行で、自分をもっと外国語について学ぶべきだと感じました。三日目のUSJでは、そこで働いているスタッフのみなさんが外国人に外国語でそつなく応じていました。私の将来の夢は役場で働くことです。必ずしも日本人だけに対応するわけではありません。外国語を深く学べる高校を選択し、どんな人にもすぐに対応できる力を身につけたいと思いました。

相楽和香

私は修学旅行の中で、外国からの観光客や車いすを使っている方など、全ての方が旅行を楽しんでいる様子を見ました。その裏では、みんなが同じように楽しむことができるように努力や工夫がされていると感じました。私たちの周りがさらに過ごしやすくなるためには、幅広い視点から物事を見つめることが大切だと考えました。そのために、相手のことを考えて行動に移したいと思いました。また、そんな社会作りに少しでも貢献できる人になりたいです。

吉村愛香

修学旅行では、奈良・京都・大阪に行きました。私が一番驚いたことは、想像以上に外国人が多くいたことです。駅やお店に入ると、いろいろな言語が聞こえてきました。特に駅の中では、外国人が駅員さんに質問していました。駅員さんは、ジェスチャーや構内の地図などを使い、一生懸命に説明をしていました。その駅員さんを見たとき、「かっこいいなあ」と思ったし、改めて、世界は広いなと感じました。まだ私は子供ですが、人のために一生懸命働いたり、貢献できるような人になりたいと思いました。また、困っている人を手助けできるようなものを開発する仕事もしてみたいと思いました。

村越里菜



京都の班別学習やUSJで、人との関わり方を学びました。みんな明るく、買いたくなったり、近づきたくなるような接客や話し方でした。また、法話でも、初めて会った人の性質を見抜き、あんなに笑わせることができるのはすごいと思いました。劇団四季では、内容だけでなく、役者さんの表現力の素晴らしさが印象に残りました。修学旅行で出会った人たちのようになりたいという思いが強くなりました。

矢吹 葵

将来の進路を考える上で、職業を知るということはとても大切だと思います。自分の職業を診断するサイトを見つけました。活用してみてください。

職業適性検査 (ベネッセ) <https://benesse.jp/contents/job/>